

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) KD-01-40号

令和元年6月26日発行

プランクトン及び貝毒検査を6月24日～26日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・貝毒検査(6/26)の結果、赤穂、相生、たつので採取したイワガキから、麻痺性貝毒は検出されませんでした。

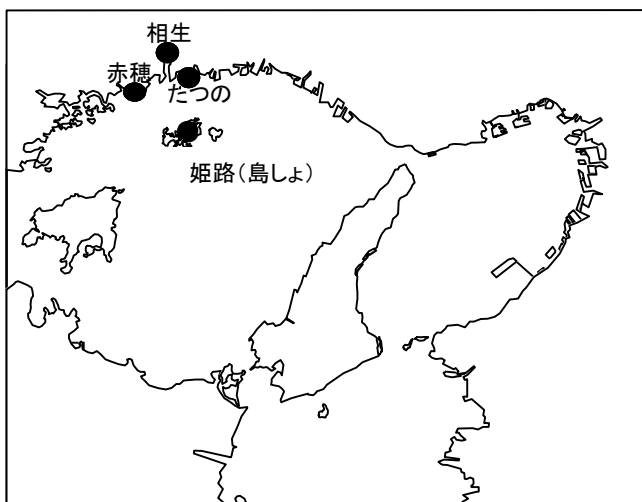
- ・今回で国の定めた基準(=3回連続規制値以下の確認)を満たしましたので、イワガキ(たつ)の出荷の自主規制は解除されました。
- ・原因プランクトンは確認されませんでした。

【検査結果】

年月日(採水・採取)		R1.6.24	R1.6.24	R1.6.24
地点(St.)		赤穂	相生	たつ
貝の種類		イワガキ(養殖)	イワガキ(養殖)	イワガキ(養殖)
貝の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒	ND	ND	ND 規制解除
痺性貝毒 原因プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/mL)	0	0	0
	アレキサンドリウム カテナラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/mL)	0	0	0
	※類似種を含む			
下痢性貝毒 原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0	0	0



※NDとは、検出限界以下のことです。



<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g

下痢性貝毒: 0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上

アレキサンドリウム カテナラ
Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

【今後の情報予定】・調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 §

・貝毒による規制等に関すること：兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室(担当：漁場整備班)

Tel: 078-341-7711 (内 4163、4164)

・貝毒調査に関すること：兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 中桐・宮原)

Tel: 078-941-8602

Fax: 078-941-8604

Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>